

## 藤井英夫さんってどんな人？ その人柄に迫る

お会いしてびっくりしたのが、とてもお若いということ！現在、藤井さんは34歳だそうです。そして、考える前に動くといふかなりの行動派で、とても熱い心の持ち主です。

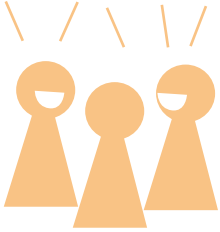
藤井さんの家はもとも農家。畑仕事はよく手伝っていたそうですが、土木作業やホットドックの移動販売など、さまざまな仕事をしてきたそうです。でもやっぱり農業が大好きだった藤井さん。その後は実家の農業を継ぎ、「やるなら違ったことをしたい！」と平成19年7月4日に会社として農業経営を始めました。向上心の強い方で、「頼まれたら、どんなに忙しくても絶対に断りません。限界に挑戦しないと、そこで終わってしまうから」と語ってくださいました。そんな藤井さんの信念は、達成するまでやる。

今後の目標を聞くと、「農業人を増やしていくこと」だそうです。



▲藤井英夫さん

藤井さんのパワフルでガッツのある人柄に魅力を感じて、全国から集まってくる人がたくさん...



## 農業修行中の渡辺さんに インタビュー

現在、藤井さんのもとで働いて1年になる施設主任の渡辺満さんに、お話を伺いました。



▲渡辺満さん

ー現在の仕事に就いたきっかけは？

【渡辺さん】農業に興味を持ち、始めてみたいと思ったとき、前の会社の後輩から藤井さんを紹介してもらいました。

ーこの職場の良いところは？

【渡辺さん】自由にできるところです！でも何よりも、藤井さんの人柄にひかれました。

ー今後の目標は？

【渡辺さん】今後もここで働きながら学び、ミニトマトの管理を全部自分でできるようになることです。

藤井さんは、渥美半島にたくさんの人に遊びに来て



もらい、農業について知って欲しいという熱意で、さまざまな活動に積極的に参加されています。私も、もっと田原の農業について知りたいし、もっとたくさんの人にも知ってもらいたいと思いました。

## 広報サポーター カメラリポート

### ＊冬の使者＊初立池のカモ

豊川用水の最終貯水池、初立池には、毎年10月中旬からカモなどが飛来し、3月ごろまで滞在しています。

今冬は、コガモやマガモ、キンクロハジキなど、6種類が羽を休めています。この時期の雄は、繁殖羽で被われ大変きれいです。20年ほど前には、2万羽近くのカモで池は埋め尽くされていましたが、最近では1〜2千羽ほどに減ってしまいました残念です。

初立池周辺には、約2.4キロメートルの散策路や国指定史跡の東大寺瓦窯跡があり、四季をとおして散策する人の姿が見られます。カモたちが北に帰るころには、散策路の桜も満開となるでしょう。



▲マガモ



▲初立池(下)と越冬中のカモ(上)  
写真撮影：葉山茂生さん



▲朝倉登喜子